

平成30年3月に発生した市道損傷（穴ぼこ）への対応について

平成30年5月28日
建設部

平成30年3月に大量に発生した市道損傷（穴ぼこ）への対応状況について、次のとおり報告します。

1 状況

平成30年2月末から3月上旬に、約4,800箇所穴ぼこが市内一円に発生した。急激な発生に補修が追いつかず、通行に支障を来し、市民に大変なご迷惑をおかけした。道路管理瑕疵（パンク等）は230件に達した。

穴ぼこ大量発生の原因は、今冬の強い寒気により2月下旬まで低温が続く中、急に気温の上昇する日も交互に生じ、寒暖差が著しかったこと。また、3月に入り降雨も含めた急激な気温上昇により、ひび割れが発生し、穴ぼこの多発につながったと考えられる。

2 これまでの対応

①通常の舗装補修業務委託及び直営による対応では追いつかず、3月中に次の緊急対応を行った。

- ・災害時の緊急対応として協定を結んでいる「盛岡市建設業協同組合」に協力要請し、5者に加熱Asによる緊急補修を依頼した。また、建設部の既契約工事（3件）を一時休止し、舗装補修を依頼した。
- ・3月定例会で、補修のための予算3,500万円を追加補正した。
- ・建設部内に緊急直営部隊を編成し、市内一円のパトロール及び補修を行った。

②3月までに、応急補修をほぼ終えたが、通行により再度悪化したり、季節の変化により路盤が緩んでいるため新たな穴ぼこの発生もあり、4月に入っても次の対応を行った。

- ・パトロール及び市職員、市民等からの通報により直営補修、及び新年度の舗装補修業務委託による加熱As補修を継続実施。
- ・国土交通省へ市長が出向き、緊急要望を行った。国交省からは、公共施設等適正管理推進事業債（充当率90%、内30%が交付税措置）による支援の意向が示された。
- ・4月末、建設部内にパトロール部隊を編成し、市内一円のパトロール及び補修を実施。

3 今後の対応

①穴ぼこ情報の収集

- ・強化期間を定めた一斉パトロール、冬期の損傷多発期間の一斉パトロールの実施。
- ・市職員、消防、警察、タクシー・バス等の交通業界、市民からの情報提供。
- ・今回の穴ぼこの状況も踏まえ、幹線道路毎に老朽化状況をデータベース化し、穴ぼこ多発箇所を把握する。

②補修の強化

- ・引き続き穴ぼこ情報に基づき補修を確実にを行うとともに、幹線道路等の穴ぼこ危険路線で、11月に一斉補修を実施し、冬期に備える。
- ・除雪業者、融雪材散布業者へAs合材を事前配布し、気付いた都度穴埋めを実施。

③舗装改築（舗装打換え）

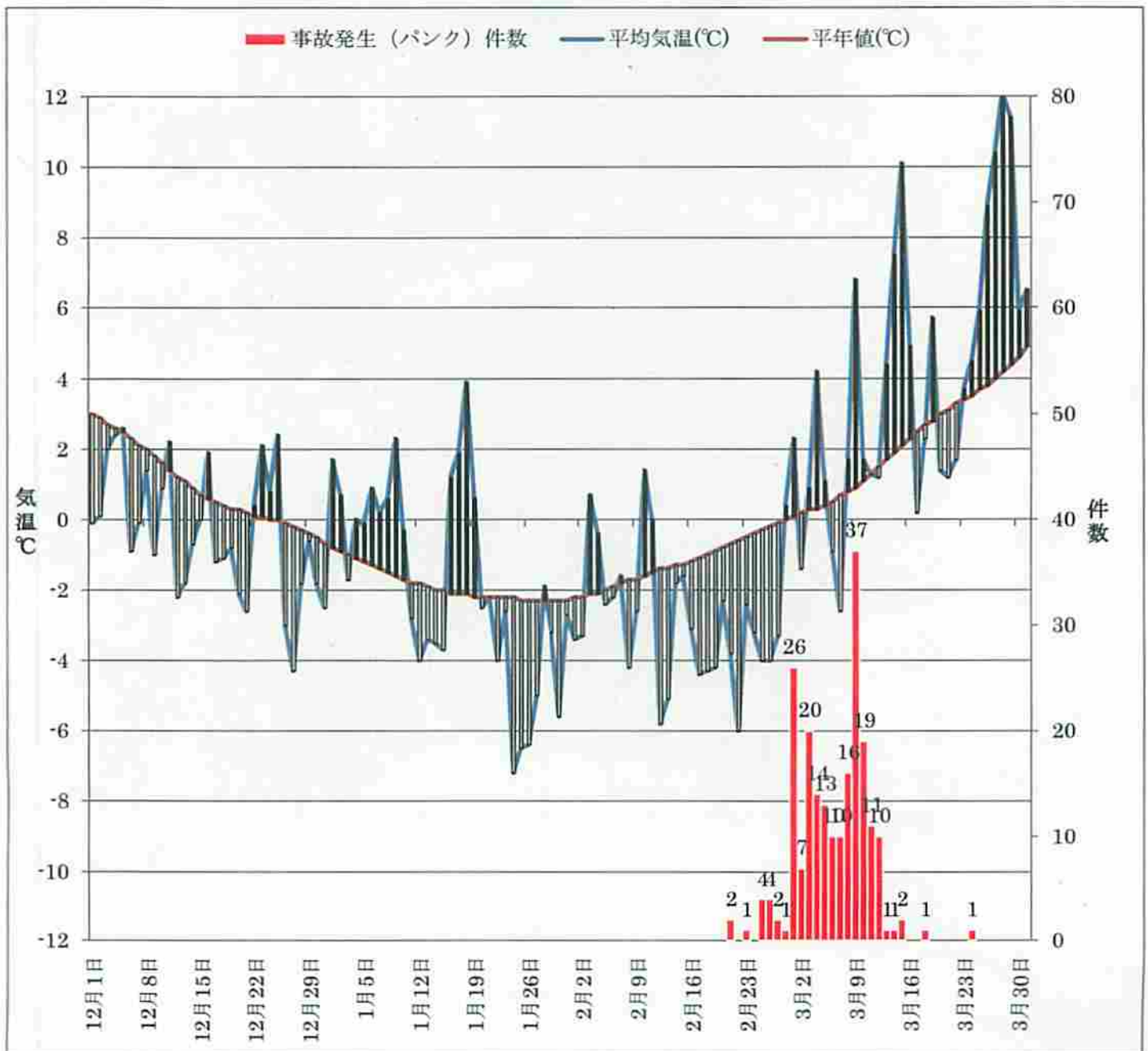
- ・今回の穴ぼこやパンク事故の発生実態を踏まえ、舗装改築の修繕計画の進捗を図る。

- ・30年度、緊急性の高い幹線道路において、公共施設等適正管理推進事業債を財源に、舗装二次改築を実施する。以降、修繕計画に基づき、計画的に舗装二次改築を進める。

【市道損傷（穴ぼこ）及びパンク事故発生件数】

項目	年度	H30年2月末から3月中旬	H28年度（前年1年間） の実績
穴ぼこ発生件数		約4,800件	約1,500件
パンク事故発生件数		230件	13件

【平成29年度日平均気温の推移と事故発生件数】



【市道パンク事故発生状況図】

